

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(平成31年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
北空知広域水道企業団	水道事業	—	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
							○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

(現行の経営体制・手法を継続する理由)

- ① 現行の経営体制・手法で、健全な事業運営が実施できているため

- 0

- 0

(左記で「⑦その他」となっている場合の詳細)

(今後の経営改革の方向性等)

地域人口の減少等による供給水量の減少、老朽化した施設の維持修繕や更新に要する費用の増大が見込まれるため、新たな財政計画では中長期的な視点に立ち、施設の延命化や管理費用等のライフサイクルコストを低減し、一層の事業の合理化、効率化に努める必要がある。